

› 2024年春発売 エクステリア新商品

テラスSC 壁付タイプ

株式会社 LIXIL

エクステリア事業部

2024年1月

LIXIL

› CONTENTS

1. 3点訴求ポイント
2. 市場・マーケットについて
3. 商品投入の狙い
4. 商品の位置づけ
5. 商品特長
6. 見積システムについて
7. 連絡事項

テラスSC 壁付タイプ

2024年春発売予定



更なる開放感と心地よさが備わった快適な軒空間を実現



1 ラインアップ強化

テラスSCに壁付タイプが新登場。
1F設置のテラスタイプとバルコニー設置の造り付けバルコニー用屋根タイプの追加により、住宅の様々な場所で軒空間を提供できます。



2 快適な軒空間を実現するデザイン

軒空間を更に快適にするためにデザインにこだわりました。

- ①スリムになった柱
- ②シンプルな壁付枠
- ③造り付けバルコニー用屋根タイプの柱固定部品ノイズレス化



3 新提案のバルコニー軒空間

バルコニー設置の造り付けバルコニー用屋根タイプにより、バルコニーにもテラスSCの軒空間を提案できます。
この春に発売されるデッキのベランダ仕様と合わせて、LIXILだけの上質なバルコニー軒空間を実現します。



ハウスメーカー、ビルダーを中心にベランダやバルコニーの新たなシーン提案が行われています

□ハウスメーカー、ビルダー住宅の事例

1Fに庭の余地が無い都市部近郊物件等でベランダやバルコニーを軒空間とするプランを提案

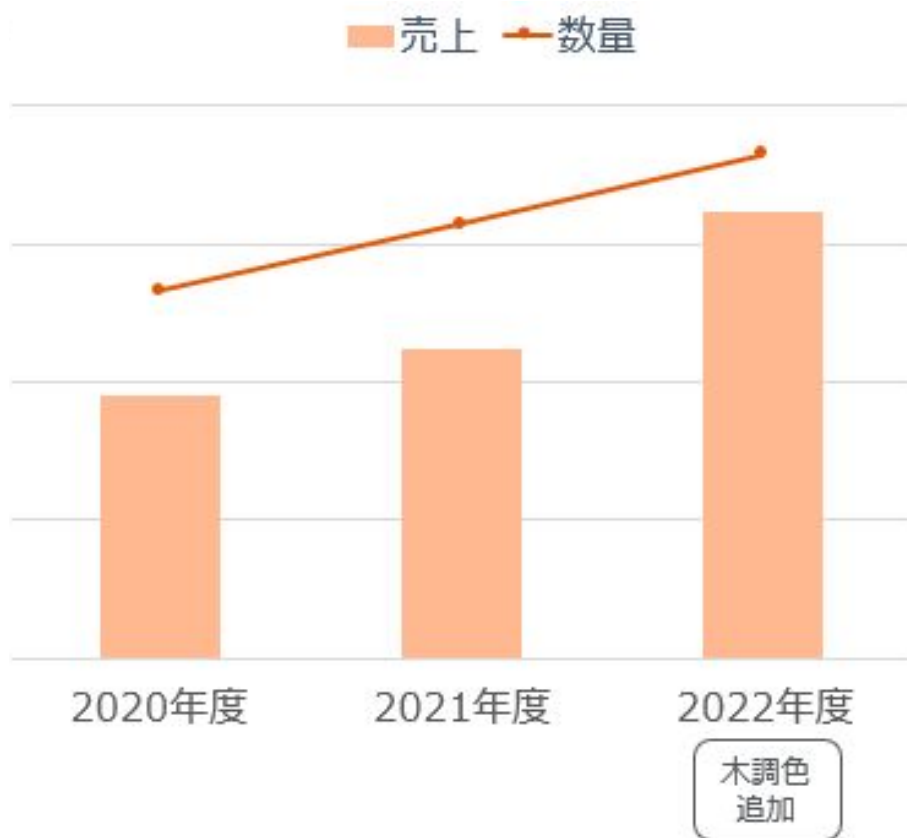


※画像はイメージです

3. 商品投入の狙い

- ・ 22年に木調色を追加し前年比約150%で順調に成長中
- ・ 23年3月にグレードアップOPであるラインライト発売
⇒今後も継続的に強化して売上伸長させる

□テラスSC 販売実績



テラスカテゴリーで成長している商品
23年にラインライトを追加
⇒継続的に強化して売上伸長させる

4. 商品の位置づけ

商品体系

- ・テラスタイプ（1F壁付）と造り付けバルコニー用屋根タイプ（2F・3F壁付）を追加
- ・色とOPは現行品と同等の設定
- ・強度は現行品よりUP、サイズは最大出幅9尺を予定

	現行品	新規	
イメージ			
設置タイプ	独立タイプ (1F独立)	テラスタイプ (1F壁付)	造り付けバルコニー用屋根タイプ (2F・3F壁付)
耐積雪強度	600N/m ² (耐積雪20cm相当)	900N/m ² (耐積雪30cm相当)	
耐風圧強度	基準風速 V0 38m/s	基準風速 V0 42m/s	
色	形材色：3色, 木調色：3色	形材色：3色, 木調色：3色	
サイズ	間口：1.5~3.0間 出幅：4~7尺	間口：1.5~3.0間 出幅：4~7, 9尺	間口：1.5~3.0間 躯体出幅：4.5, 6, 7.5, 9尺
連棟	有り	有り	無し

5. 商品特長

■ テラスSCとデッキが提案する空間コンセプト（この商品が目指すこと）

更なる開放感と心地よさが備わった快適な軒空間

■ 提供価値と差異化ポイント（機能・デザイン・仕様等）



・ 差異化ポイント

- ・ テラスSCの柱がスリムになることで更に開放的な軒空間を実現
- ・ SC仕様のシンプルな壁付枠が雨だれを解消し快適な屋根下空間を提供
- ・ 1Fだけでなくバルコニーへの設置が可能になり、
空まで続く開放感と心地よさを 併せ持つバルコニー軒空間を実現
- ・ ルーフとデッキでセット提案することで“寛ぎの場”や“子どもの遊び場”等を
他社にはない上質な空間として提供

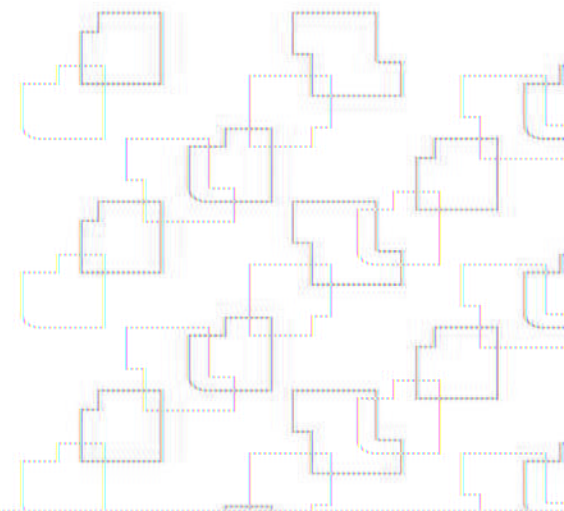
・ テラスSCとデッキで実現する軒空間がある暮らし“NOKI LIFE”を提案

家族の暮らしを豊かにする軒空間を提供します。

- ・ 景色を堪能しながら仕事前のモーニングティーに。
- ・ プライバシーも日差しも気にせず安心して子どもと遊べる遊び場に。
- ・ 心地よい風にあたりながら衣類を干したり植物を育てたり。



› 見積システム編



6. 見積システムについて

現行品独立タイプと同様に壁付タイプもSSH・GSHに対応

Home
見積を始める
商品を選ぶ
仕様を選ぶ
見積確認

合計金額

325,100円

商品名 テラステラスSC

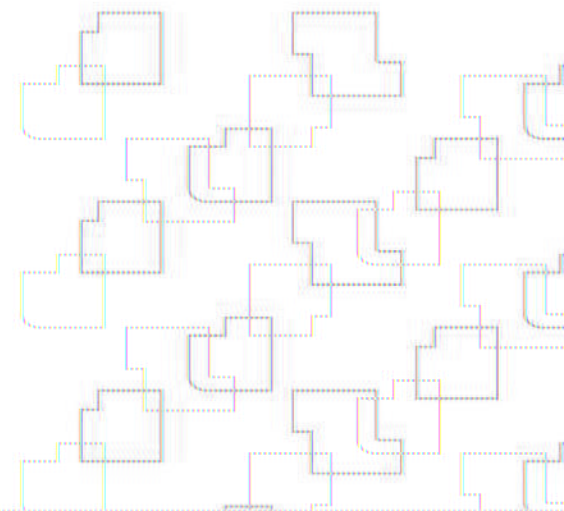


表示画像はイメージ画像のため、実際の商品と異なる場合があります。

基本仕様	詳細仕様	オプション
 <p>間口 1.5間</p>	 <p>間口 (連棟) なし</p>	 <p>出幅 4尺</p>
 <p>柱・梁色 シャイングレー F</p>	 <p>屋根材色 シャイングレー F</p>	 <p>基礎サイズ ※ 土間コン併用基礎</p>
		 <p>柱長さ 標準柱</p>

※画像はイメージです。最終画像ではありません。

› 連絡事項



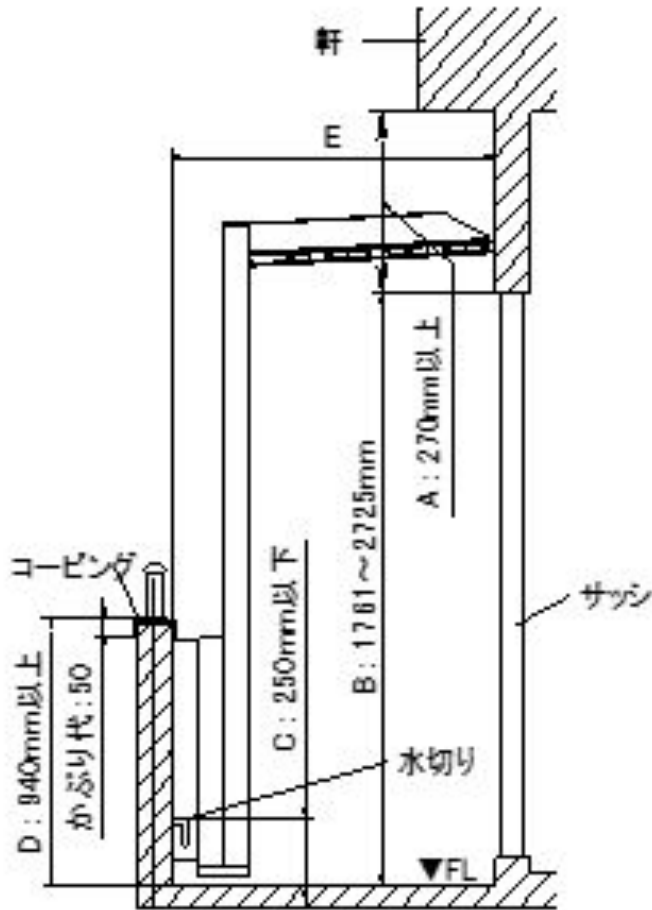
7. 壁付枠セット・後枠セットの梱包について

前後枠セットが壁付枠・後枠となり商品コードと梱包が別になります

	現行品 独立タイプ	新規 壁付タイプ
イメージ	<p>前後枠セット</p>	<p>【テラスタイプ】 壁付枠セット</p> <p>【造り付けタイプ】 後枠セット</p>
部材	前後枠セット	壁付枠セット・後枠セット
梱包数	1	2

壁付タイプにおける設置条件はカタログに掲載します

現調にてご確認いただきたい壁付タイプの設置条件はカタログ等のツールに掲載します。



- A: サッシ上から軒下までの高さ：270mm以上
(シャッター付きの場合、シャッター上部から軒までの寸法を400mm以上)
- B: FLからサッシ上までの高さ：1761~2725mm
- C: FLから水切り上端までの高さ：250mm以下
- D: FLからコーピング上端までの高さ(コーピングかぶり代を50mmとした時の値)：940mm以上
- E: 住宅外壁から接壁内面までの寸法

※E寸法の設置可能範囲は下表参照

	min	MAX
4.5R	1139	1232
6R	1504	1687
7.5R	2049	2142
9R	2504	2597

■柱の拾い出し方法(造り付けバルコニー用屋根)

●注意

・事前に住宅のFL~サッシ上端までの寸法を測定して柱を拾い出してください。

		FL~サッシ上端までの寸法 ※1											
		1761~1784	1785~1808	1809~1831	1832~2005	2006~2029	2030~2053	2054~2076	2077~2250	2251~2274	2275~2298	2299~2321	2322~2725
型	4.5R	H21	H21	H21	H21	H23	H23	H23	H23	特注	特注	特注	特注
体	6R	特注	H21	H21	H21	H21	H23	H23	H23	H23	特注	特注	特注
出	7.5R	特注	特注	H21	H21	H21	H21	H23	H23	H23	H23	特注	特注
幅	9R	特注	特注	特注	H21	H21	H21	H21	H23	H23	H23	H23	特注

※1 シャッターがある場合は、FL~シャッター上端までの寸法+160mmの値で拾い出してください

※最終画像ではありません。詳細はカタログをご確認ください。

壁付タイプの施工動画を準備致します

壁付タイプの施工の変更点をご確認いただけるよう施工動画を準備致します。

□主な変更点（事例）



バルコニーでの施工における安全性を考慮して
造り付けバルコニー用屋根タイプの
側枠の止め方を下止めに変更しました。

詳細は取説と施工動画をご確認ください。

造り付けバルコニー用屋根タイプの施工は
特殊工具（ロングドライバービット 200mm以上）を
ご用意ください。
柱固定部品取付け時に使用します。

7. バルコニー設置（造り付けバルコニー用屋根タイプ）の出幅サイズについて

- ・出幅は製品サイズではなくバルコニーサイズ「躯体出幅●尺」で呼称
- ・バルコニーのサイズに合わせた出幅で設定すべく1F設置とは異なる屋根材枚数の設定

□造り付けバルコニー用屋根タイプの出幅呼称

一般テラスと違い、屋根とバルコニーの出幅サイズが異なる。
 設置できるバルコニーのサイズを分かり易くするために、
 製品サイズで呼称するのではなく、
 バルコニーサイズ「躯体出幅●尺」で呼称。
 ※現行カタログと同様に寸法も表記する予定



屋根がバルコニーより
内側に付く

□出幅サイズごとの屋根材枚数

●1F設置

出幅	現行品 独立タイプ	テラスタイプ
4尺	5	5
5尺	7	7
6尺	9	9
7尺	11	11
9尺	—	15

●2・3Fバルコニー設置

出幅	造り付けバルコニー用 屋根タイプ
躯体出幅4.5尺	5
躯体出幅6尺	8
躯体出幅7.5尺	11
躯体出幅9尺	14

見せ筋の6尺はテラスタイプと
造り付けバルコニー用屋根タイプで
サイズが異なる

テラスSCの構造上、柱付近にはバルコニー内に雨が入ります



構造上、屋根部が柱手前までのため、柱付近には雨が入ります



柱の出幅方向の調整具合にもよりますが、デッキ2~3枚分雨が入ります

カタログの注意の欄に文言追加

注意

<共通>

- 床下の雪や植木鉢などの落下のおそれのある場所への施工はさせていただきます。
- 設置地帯での施工はさせていただきます。
- 積雪が30cmを超えないうちに、必ず雪下ろしをしてください。
- 絶対に屋根の上に歩かないでください。
- みだりに改造、変更をしないでください。
- 屋根材（アルミ形材）の部材ごとの色のはらつきは、色調限度範囲内ですが、光の反射などにより、見え方がばらつくことがあります。
- 屋根材（アルミ形材）は気温差化により結露が生じることがあります。
- 屋根材（アルミ形材）が太陽の反射により、眩しい場合があります。
- 木調色は天井面（屋根材下面）のみとなります。
- 天然木の持つ素材ごとの表情の違い、木目や色の風合いまで再現しているため、部位により柄や色調に違いが出る場合があります。
- 雨樋（後種）のたわみより雨樋の中の雨水が少し溜まってしまうことがありますが、性能上問題ありません。
- 壁付枠、柱固定部品を取り付ける部分には柱等の構造体があることを必ず確認してください。
- 外壁部分だけで固定することは絶対に行わないでください。

<テラスタイプ>

- 開口サイズ違いの選様の場合は、施工時に部材が入れ違わないようご注意ください。
- 躯体との距離は下記寸法を守って施工してください。（単位:mm）

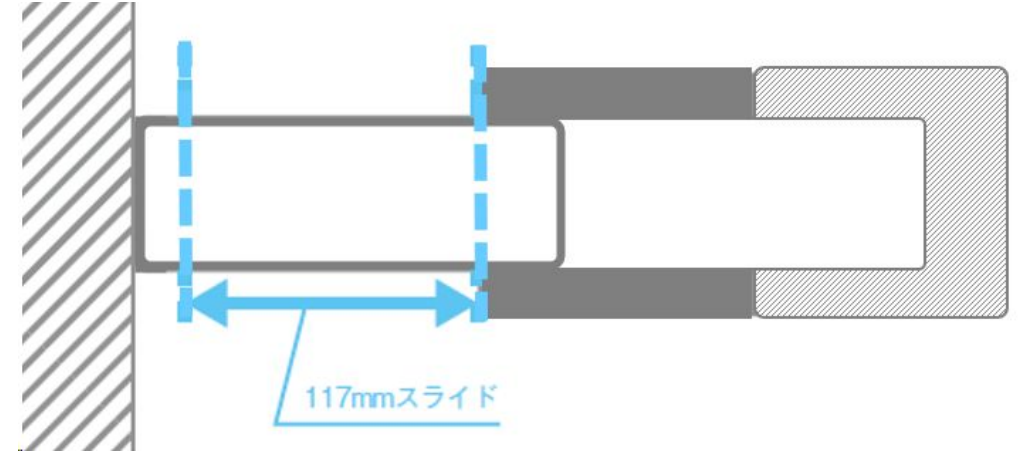
28

<構造付けバルコニー用屋根タイプ>

● 屋根部は柱手前までになります。構造上柱付近には雨が入りますのでご了承ください。

7. 造り付けバルコニー用屋根タイプで使用する柱固定部品について

- ・柱と腰壁の距離を調節できる形状
 - ・SCのコンセプトである“住宅調和”に沿った柱と一体になるノイズレスな形状
- ⇒意匠性と安全性を兼ね備えた従来に無いSC専用の柱固定部品



バルコニーに設置するため躯体とバルコニーの壁厚を吸収して納められるよう、柱と腰壁の距離を調節できる形状が必要。それを満たした上でSCのコンセプトである“住宅調和”が叶うよう、柱と一体になるノイズレスな形状を実現した。

7. カタログ記載の変更点（耐風圧強度）について

SCシリーズの基準風速V0表記への変更に伴い、 テラスSCも基準風速V0表記に変更します

法令で定められている基準風速を用いることで、設置可能な地域が分かり易くなります。

	現行品	新規	
イメージ			
設置タイプ	独立タイプ (1F独立)	テラスタイプ (1F壁付)	造り付けバルコニー用屋根タイプ (2F・3F壁付)
現行	自社基準 42m/s相当	—	
変更後	基準風速 V0 38m/s	基準風速 V0 42m/s	

LIXIL

MAKE BETTER HOMES A REALITY FOR EVERYONE, EVERYWHERE

世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現